

## 今週のトピック – 2016年10月10日

### 英ポンドの急落

英ポンドは政治懸念とEU離脱(ブレグジット)のハード・ランディングの可能性から引き続き圧力下にあります

英ポンドは10月7日に急落しましたが、これはトレーダーの注文ミス及びアルゴリズムによって引き起こされたと言われてしています。米ドルに対してのこの6%下落はほとんど回復しましたが、最近の英ポンドの下落は政治及び軟弱なファンダメンタルズに起因すると考えています。



**デビッド・ライリー**  
パートナー兼クレジット戦略ヘッド

#### 英ポンドの2016年10月7日、1日の動き



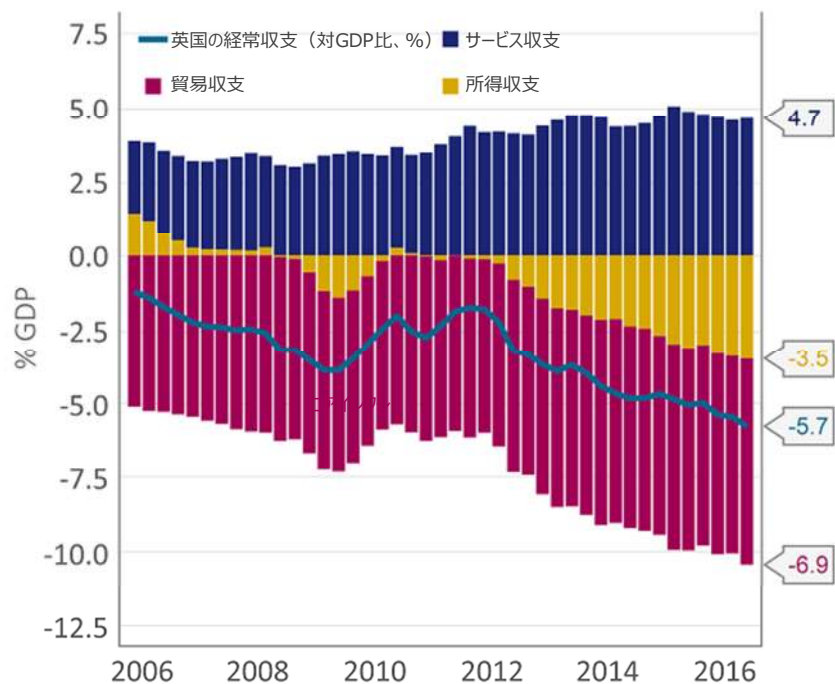
出所: Bloomberg; 2016年10月7日, 15:40 BST

テレサ・メイ首相は、リスボン条約50条に基づき、2017年3月末までに2年間に亘るEU離脱の手続きを正式に開始すると発表しました。さらに、EU籍の人の英国への自由な移動と欧州裁判所の司法権は受け入れないとし、単一欧州市場へはメンバー国ではなく、世界貿易機関(WTO)のルールのみに基づいてアクセスするという、ブレグジットのハード・ランディングの可能性が高まりました。英国政府による強硬な発言に対して、フランスのオランド大統領やドイツのメルケル首相は対抗しました。今後数年間に亘る交渉で、英国とEUの貿易及び財政面に関する合意は、WTOの標準ルールよりもお互いにとってより有益なものに落ち着く可能性はありますが、あまり良くない出だしとなっています。

#### – 英国政府の強硬な発言に対して、欧州のリーダーは対抗しています –

IMFの予想によると、英国はG7の中で最も高い経済成長を遂げるかもしれませんが、経常赤字はGDPの6%に上り最大となっています。サービス収支の黒字が見られなければ、経常赤字はさらに膨らむこととなります。しかし、サービス収支の黒字は、ブレグジットのハード・ランディングによって最も影響を受けやすい金融セクターがもたらすものです。政治及びファンダメンタルズの状況は改善する可能性がありますが、それまでの間、英ポンドは圧力に晒されるでしょう。

英国の経常収支（対GDP比、%）



出所:Macrobond; 2016年4~6月期

ブルーベイ・アセット・マネジメント・インターナショナル・リミテッド  
 関東財務局長（金商）第 1029 号  
 加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会

本資料は受領者への情報提供のみを目的としており、特定の運用商品やサービスの提供、勧誘、推奨を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。本資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、当社がその正確性、完全性、妥当性を保証するものではありません。記載された内容は、資料作成時点（2016年10月11日）のものであり、今後予告なく変更される可能性があります。過去の実績及びシミュレーション結果は、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。なお、当社による書面による事前の許可なく、本資料およびその一部を複製・転用・ならびに配布することはご遠慮下さい。当社と金融商品取引契約の締結に至る場合には、別途「契約締結前交付書面」等をお渡ししますので、当該書面等の内容を十分にお読みいただき、必要に応じて専門家にご相談の上、お客様ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。